

赤木文庫藏寛永板複製

犬子集

上

古典文庫

赤木文庫藏寛永板複製

犬子集

上

古典文庫

古典文庫第二三九冊

昭和年四十二年六月二十日印刷發行

非売品

上 集 子 犬

發行者 吉 田 幸 一

東京都文京区元町二ノ一五

印刷者 甲 田 印 刷 所

發行所

東京都(王子局区内)
北区西ヶ原三ノ三四

古 典 文 庫

電話(九一九)二七一七
振替口座東京一四五九七番

子集

史記諸君者人のもてあふ事
世にあらし事をもらんになん
事ハ中以伊勢國山田の神友、桑木田
守武又山城國山崎、宗鑑とて此
道乃好士侍り、心付くまわ
たりしと云ふ、守武は杜吟
十句とて、宗鑑は太鼓波とて
世に形見と云ふ、ゆゑに、人の
人もなく、此の後は、此の
ともやきしく、云々の事

ゆるきうあれば今も津代郡の
和正もあまも國を安全にして民乃
電もいにさうわもきんもさ
く次諸道とあともあも誂端も又
らんあしてらん世に及たのふさ
あんも且いも無状うあもや
右人乃例はあもてあもを海に
貴式千句大勢波集右もあも入
さるのうもまはてあも付も様
宜くあもいりあもさるあも集て

或古志に據見く入用推し詞とく之
うらふは二集あり一は先と太子集
号侍る作は寛永八年四月に此
二とをわすりて國を所とるの事
句をりて同十年睦月廿二日に記終ぬ
そと氏太子集より中々大抵波と云
ふこととて是れ九教句の教一千
五百二十句の事とて千句に修家
誠此乃よと云ふ事切なりと
て今以来乃人口に人神無きと

とも賜ふふいふうらましも和光同
善なりけり能縁の神なりけり是れ
とてゆへ。終へて一也とて世にあら
まぬ。あまう海に濱のまはれ敷き
あんまりいふもうけり。あまう
乃中ひあまうの事なりけり。次
只あまうに似て種にあまうなりけり
いらまう。まじりけり。あまうの
あまう。あまう。あまう。

狗獠集題目錄

春部

元日

才一

春榮

二

梅

鶯

霞

殘雪

春冰

春雨

木月

柳

松若綠

春草

土筆

春和布

春月

春雪

歸鴈

雄子

桃花

櫻

辛夷

茶花

蕨

永日

春郭云

蝶

杏子

楊柳

海棠

踰躅

蕨

蛙

暮春

桂

花

梨花

小米花

蓮

款冬

喚子鳥

雜玉

狗猫集卷第一

春上

元日

長きやちりんそくそん門の松徳え
わきたのこひちきりそくそん自徳
礼教そくそんそくそん徳ふ道

古年にあふそんそ

まほいぬ日中時やまふの春事

申のそくにそんそ

ま年そくそんそくそんそんそんそん

年より人よりなりけり。六月朔
子ひぬ人より先きなり。年
春より時辰よりなり。日
りより年の頭なり。甲子
年より乙未なり。子より
ひひなる餅より見たり。力
四言に金よりなり。日
老より乙未なり。日
と朝よりひひなり。青
ぬり子より乙未なり。年
盛

福の神といふは、
いふまゝに天下を
治す

威徳天子の御方

米俵といふは、
草も木も目も
日のもやも
山いふは、
門いふは、
師走といふは、
とちふは、

をく繩いふ年とていふは天に武常勝
年ゆてひくぬ梅や古暦 乙亥

寛永七年午れはちきり

寛永やあり七葉のひく年 亥
ふく、年つゝあやむの兄 丑
國はちきり七葉や申れは 酉
午ありてとあやむ、年かき 戌
とじりへふまきちきり 子
申へふまきやあやむとあやむ 丑
戌は、ちきり、年 寅

年内五五れん哉

とねのまゝ数語みしーとれん五五筆

天業やうまゝ紙うそそ相合樂市頼

大上戸ありーあるのあうれ

のまゝいふれーまゝうけあま

物いそへまゝあまやうまゝ遷

世界とまゝまゝあまの月れまゝ年

先をく梅う音ひひくまゝのま

元日屠蘇白散のん哉

けい返りまゝの天うまゝ有る

春の行とたぬやうに日
 春のまゝも年になく申年
 を過ぐてももて成る年
 にもふはうにもふ西山の
 年としり紙多し山々も
 まうぬきそやうに信法村
 庭へまゝに金やうれは
 大くれ物やけちのえん年
 梅も先になひやうなれは
 けしたるはうやうなれは
 月 月 月 貞徳